

Jマテ. カッパープロダクツ株式会社 様

入出庫業務を取引先とモバイルアプリで共有、企業を越えた現場DXを実現

kintoneのモバイルフロントアプリとして在庫状況の可視化を実現し、生産計画の最適化に貢献

水道部品や産業機械部品を中心とした銅合金メーカーのJマテ. カッパープロダクツ。同社では、Platioで作成した「入出庫管理アプリ」を、取引先のカワトT.P.C.の工場内で利用してもらい、納品素材の利用状況や在庫状況を把握。取引先への安定した素材供給を実現している。アプリはRPAツールを活用して基幹システムやkintoneとデータ連携し、アプリ上での入力業務の自動化や、アプリで報告されたデータを取引先との共有データベースであるkintoneへ登録する作業を自動化。kintoneのモバイルフロントとしてアプリを活用することで、現場の作業効率化だけでなく、生産計画の最適化や取引先の製品トレーサビリティ強化に貢献するなど、企業を越えた現場のDXに取り組んでいる。

課題・目的

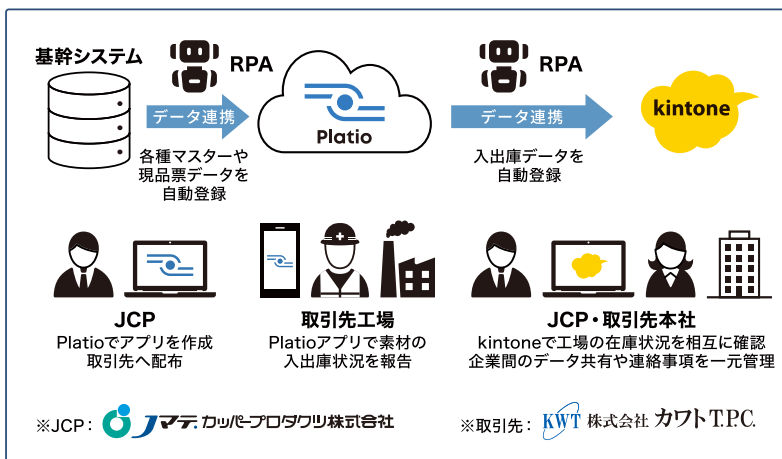
- DX推進には取引先工場の協力も必要、互いの企業がWin-Winになる現場DXの取り組みを推進したい
- 過不足なく素材を安定供給するために、取引先工場の在庫状況をリアルタイムに把握したい
- 企業間で在庫状況を共有するには、基幹システムの改修が必要だが、コストや時間が課題
- 現場での入力作業を効率化するため、シンプルな操作で報告可能なモバイルアプリを探していた

選定ポイント

- 開発スキルがなくてもアプリ作成が可能で、低コストでシステム化を実現できるため費用対効果も高い
- Webアプリでは実現が難しい、バーコード読み取りやデータベースのルックアップ処理などの機能が豊富で、kintoneのモバイルフロントアプリとして活用可能
- RPAツールのBizRobo!と組み合わせることで、取引先との共有データベースであるkintoneへのデータ登録作業の自動化が可能

効果

- 取引先の改修要望を2時間でアプリに反映でき、現場が使いやすいアプリの早期作成・運用を実現
- 取引先工場の在庫状況をアプリで収集、素材の利用動向を把握することで安定供給と適正な生産計画を実現
- 紙の入出庫処理をアプリ化し、取引先の現場DXにも貢献。アプリは改修を重ね、処理にかかる時間を50%削減
- アプリはkintoneと連携し、取引先と在庫状況を常に共有。企業間でのデータ共有・活用を実現



バーコードを読み取るだけで
入庫処理に必要なデータを自動入力



出庫処理は、取引先側の
製品トレーサビリティを意識した項目を追加

ユーザーのひと言



業種や業界を問わず、地元である新潟県の様々な企業と成功事例や課題を共有しながら全社でDXに取り組んでいます。Platioとkintoneを活用したカワトT.P.C.様との取り組みは、私たちが紹介したい成功事例の1つです。基幹システムを改修することなく、内製開発で企業間データ共有を実現できたことは、多くの企業の参考になると 생각합니다。

Jマテ. カッパープロダクツ株式会社 代表取締役社長 山本 耕治 氏



カワトT.P.C.様との取り組みは、当社でお客様の在庫状況を把握するだけでなく、お客様の入出庫処理業務のペーパーレス化や効率化に貢献しています。入出庫データは相互に共有することで活用価値も高まり、まさにWin-WinのDX。企業を越えたDXの取り組みに大きな手応えを感じています。また、アプリ作成の容易さから、グループ企業でもPlatio活用の輪が広がっています。

Jマテ. カッパープロダクツ株式会社 経営企画室 副部長 兼 DX推進リーダー 西本 俊介 氏

User Profile



所在地: 新潟県上越市大潟区土底浜2024-1

従業員数: 311名(2024年6月現在)

会社概要: 多様な材料スクラップを溶解・ castingして、高品質な銅合金製品を製造する casting メーカー。産業機械や上水道関連部品を加工・提供している。

URL: <https://www.jcp.joemate.co.jp>